

# 令和7年度事業報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

## 法人の概要

法人の名称：公益財団法人 五井平和財団

設立登記日：平成22年4月1日

法人の目的：社会教育等の様々な分野において、平和に関する普及啓発及び調査研究等を行うとともに、国際理解に資する交流事業等を行い、もって世界平和に寄与することを目的とする。

法人の所在地：東京都千代田区平河町1-4-5 平和第1ビル

## 公益目的事業1 平和教育・平和普及啓発事業

### 1. フォーラム・講演会等開催事業

#### (1) 2025年度五井平和財団フォーラム

開催日 令和7年11月29日(土) 15:00~17:30

会場 日経ホール

テーマ 平和のムーブメントをつくる

参加者 417名(内 大使館16カ国18名)

視聴回数 日本語：1,435回 英語：542回(YouTube)

#### 内 容 **第1部**

開会挨拶

五井平和賞授賞式および受賞記念スピーチ)

平和賞受賞者 ジェレミー・ギリ / 映画製作者、平和活動家  
対談

出演者 ジェレミー・ギリ

西園寺昌美会長、西園寺裕夫理事長

#### **第2部**

ダイアログセッション：私から始まる希望の未来

出演者 谷崎テトラ/放送作家、一般社団法人アースデイジャパン  
ネットワーク共同代表

住岡健太/NPO 法人 Peace Culture Village 専務理事

須藤潤 / AI+Compassion Global Forum 創設メンバー

川村美妃 / ミネルヴァ大学生、五井平和財団インターン

モデレーター 川村真妃 / 五井平和財団副理事長

#### (2) 講演会・シンポジウム

##### ①「講演会シリーズ：21世紀の価値観」

第70回特別企画 ジェーン・グドール博士来日記念講演会

講師 ジェーン・グドール博士 動物行動学者、環境保護活動家、  
2024年度五井平和賞受賞者

プログラム

第1部 ジェーン・グドール博士講演

希望の光を未来へつなぐ ～次世代のためにできること～

## 第2部 クロストーク

[出演者] 今村 直樹 (株式会社うみのほし 代表取締役)

風間 理紗 (一般社団法人エディブル・スクールヤード・ジャパン)

山藤 旅聞 (新渡戸文化中学校・高等学校 副校長)

鈴木 柚子 (渋谷区立臨川小学校 教諭)

吉川 里香 (五井平和財団 青少年教育担当)

[モデレーター]

大庭美菜 (NPO 法人 Jane Goodall Institute Japan

エグゼクティブ・ディレクター)

共 催 ジェーン・グドール インスティテュート ジャパン

Educators for Future Japan

開催日 令和7年6月13日(金) 18:30~20:15

会 場 東京ウィメンズプラザ ホールならびにオンライン配信

参加費 会場参加

一般 2,500 円、学生 1,000 円、五井平和財団賛助会員・JGI 会員 2,000 円

オンライン参加

一般 2,000 円、学生 500 円、五井平和財団賛助会員・JGI 会員 1,500 円

アーカイブ視聴

一般 2,000 円、学生 500 円、五井平和財団賛助会員・JGI 会員 1,500 円

会場参加者数 合計 228 名

オンライン視聴者数 ライブ視聴 209 名

アーカイブ視聴回数 日本語: 510 回 英語: 169 回

## ②中高生キャリア支援プログラム「私のコンパス」オンライン配信

### 第8回

講 師 関根健次 (ユナイテッドピープル株式会社代表取締役/映画プロデューサー)

テーマ 映画で世界の課題解決を!

～人に感動を与える映画の力を使い、平和で持続可能な世界をつくる挑戦～

開催日 令和7年4月2日(火) 14:00~15:45

参加者数 合計 53 名 (中高生 48 名、オブザーバー (教員等) 5 名)

### 第9回

講 師 小国士朗 (株式会社小国士朗事務所 代表取締役/元 NHK 番組ディレクター)

テーマ 『笑える革命』のつくりかた

～笑えない社会課題の見え方がぐると変わる (かもしれない) 105 分～

開催日 令和7年8月7日(木) 14:00~15:45

参加者数 合計 45 名 (中高生 37 名、オブザーバー (教員等) 8 名)

### 第10回

講 師 中嶋優子 (国境なき医師団日本会長/救急医・麻酔科医)

テーマ 世界を飛び回る救急医、国境なき医師団日本会長が語る

— 命を守る医療援助の最前線

開催日 令和8年3月26日(木) 14:00~15:45

参加者数 合計 104 名 (中高生 100 名、オブザーバー (教員等) 4 名)

### ③Peace Convergence

#### 第4回 Peace Convergence@大阪・関西万博

日時：8月18日（月）18：00～21：00

会場：大阪・関西万博内 フェスティバル・ステーション

主催：NPO 法人アース・アイデンティティ・プロジェクト

共催：公益財団法人五井平和財団

株式会社 PLAY SPACE

NPO 法人 Peace Culture Village

株式会社 JTB

一般社団法人次世代教育ネットワーキング機構

プログラム：

【平和 × 暮らし】ウェルビーイングな暮らしとは？

出演者：伊藤幹（株式会社博報堂）、横田裕美（株式会社 JTB）、  
渡邊淳司（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）

【平和 × 生命】死に方（生き方）から考える自分らしさ

出演者：山口有里（インタープレナー）、川村真妃（NPO 法人幸ハウス）

【平和 × 未来】若者による希望のメッセージ

出演者：河村波音（広島なぎさ高校）、川村美妃（UWC ISAC JAPAN）、  
川村琉美（国際高等学校）

【平和 × 歌】平和がつながり響き合う世界

出演者：白田直也（音楽家）、利波直子（歌手/ライフコーチ）

ファシリテーター：住岡健太（NPO 法人 PCV）、川村真妃（五井平和財団）

YouTube 配信：視聴回数 441 回

#### 第5回 Peace Convergence

日時：11月30日（日）18：00～21：00

会場：日経カンファレンスルーム

プログラム：

- ・ 自分の中の平和と価値を見つめる
- ・ 2025 年度五井平和賞受賞者ジェレミー・ギリー氏との交流
- ・ 平和の価値を広げる

対話 1：One to One（探究と共有）

対話 2：One to Many（拡散）

対話 3：Many to Many（創発）

入場料：一般 5500 円、学生 3000 円

参加者数：36 名

### ④AI+Compassion Global Forum

日時：10月2日（木）11：00～17：30

会場：大阪・関西万博会場内 アメリカパビリオン

共催：AI+Compassion Alliance

プログラム：

- ・ ロボット工学者・石黒浩氏、メディアアーティスト・落合陽一氏をはじめとするテクノロジー、文化、政策の分野で活躍するスピーカーによる講演
- ・ アメリカパビリオン VIP ツアー
- ・ レセプション

参加者：60 名（スピーカー10 名、学生 34 名、参加者 16 名）

⑤Goi Peace Cafe（五井平和財団フォーラム・アフターイベント）

日時：12月4日（木）19：00～20：30

プログラム：感想・気づきを共有する対話

参加方法：オンライン（Zoom）

参加費：無料

対象：五井平和財団フォーラム参加者

参加者：20名

（3）Living New ワークショップ

人が輝ける生き方を応援し、人と人、人と社会をつながけながら、新しい未来をつくっていくプロジェクト

○あるがままの自分を知る・気づく・見つめる場の提供

○人の在り方、考え方、感じ方の多様性を共感、共有する場の提供

○自分の特性を社会に活かすサポート

事業見直しのため、令和7年は開催せず

（4）賛助会員との交流および活性化事業

①2025年度五井平和財団会員総会「報告と感謝の集い」

開催日 令和8年2月21日（土）オンライン配信

内 容 事業報告、賛助会員との交流、質疑応答など

対 象 五井平和財団賛助会員および五井平和財団に関心のある方

視聴者数 372名（内Zoom参加90名） 再生回数：429回

参加者数：ライブ参加302名（Zoom73名、YouTube229名）

アーカイブ視聴：101名

視聴回数：839回

②地方懇談会 令和7年度は開催せず

③ボランティア活動

ーコミュニケーター制度

コミュニケーター通信 令和7年度は発行せず

ーピースフル・プロジェクト

月間テーマ

4月 新しい出会いに感謝しよう／5月 心を整える

6月 テクノロジーの恩恵に感謝する／7月 自然とのつながりを感じる

8月 歴史から学ぶ／9月 関心のある分野から平和に貢献する

10月 心と身体をつながりを意識する／11月 平和を表現しよう

12月 一日一善（できればもっと）／

令和8年1月 人とのご縁を大切にしよう／

2月 人を元気づける言葉をかけよう／3月 AI（人工知能）との未来を考えてみよう

（5）「富士宣言」推進（パートナー組織および事務局として）

① ソウル・オブ・ウィメン

・女性の会：幹事会定期開催（5月9日、10月29日）

② 富士宣言10周年企画

・世界のピースリーダー3名と富士宣言の共同発起人であるアーヴィン・ラズロ博士、西園寺昌美会長、西園寺裕夫理事長からの発足10周年に関するメッセージビデオをYouTube、ブログ、メルマガにて配信

・「21日間チャレンジ2025ー神聖なる精神を日常にー」の実施を、YouTube、ブログ、メルマガ、Facebookページにて配信

(6) 各種情報媒体の活用

①機関誌「平和の創造」発行

季刊 各約 3,000 部作成と発送

活動報告、新しい方向性、イベント情報等を掲載

②MPPOE ニュース発行

季刊 各約 3,000 部作成と発送

ピースメーカーの活動報告、キャンペーン情報等を掲載

③インターネット・ソーシャルネットワークサービス (SNS)

<五井平和財団>

ウェブサイト、フェイスブック (日英) / X(旧ツイッター) 定期更新

Instagram 定期更新

YouTube 公式チャンネル (日英)

Flickr (フリッカー: オンラインアルバムサービス)

メールマガジン (日英) 発刊

<ESD ユース>

ESD 日本ユース・コミュニティ/フェイスブック

ESD ユース参加者運営の SNS

<社会起業家コンペティション>

オンライン・コンペティション

オンライン・キャンパス

<富士宣言>

ウェブサイト/フェイスブック (日英西) 定期更新

メールマガジン

ソウル・オブ・ウィメン/フェイスブック (英)

<Source of Wonder>

ウェブサイト (英)

YouTube 公式チャンネル (英)

<MPPOE>

ウェブサイト/フェイスブック定期更新

メールマガジン発行

④各種行事の動画配信

- ・「講演会シリーズ: 21 世紀の価値観」

第 70 回特別企画 ジェーン・グドール博士来日記念講演会

- ・中高生キャリア支援プログラム「私のコンパス」

関根健次 映画で世界の課題解決を!

～人に感動を与える映画の力を使い、平和で持続可能な世界をつくる挑戦～

小国士朗 『笑える革命』のつくりかた

～笑えない社会課題の見え方がぐると変わる (かもしれない) 105 分～

中嶋優子 世界を飛び回る救急医、国境なき医師団日本会長が語る

— 命を守る医療援助の最前線

- ・第 4 回 Peace Convergence@大阪・関西万博

- ・AI+Compassion Global Forum

- ・World Peace Flag Ceremony

大阪・関西万博会場内 フェスティバル・ステーション

EXPO アリーナ「Matsuri」

- ・2025 年度五井平和財団フォーラム

平和のムーブメントをつくる

- ・2025 年度会員総会「報告と感謝の集い」

⑤各種行事の DVD 制作

- ・2025 年度五井平和財団フォーラム

## 2. 五井平和賞顕彰事業

五井平和賞      ジェレミー・ギリー  
映画製作者、平和活動家（イギリス）

ジェレミー・ギリー氏は、戦争や暴力のない一日を世界に実現しようと、国連「国際平和デー」の日付の特定に尽力し、この日を起点に、平和に向けた行動が世界中に広がるよう四半世紀以上に亘って活動を続けてきました。また、個人、学校、企業など、様々な人々を巻き込みながら、映像や音楽など独自のアプローチを通じて、気候変動をはじめとする世界が抱える諸課題への意識を高めてきました。政治、宗教、人種、文化など様々な違いを超えて、人々の心と行動をつなぎ、平和に向けたグローバルなムーブメントの創出への貢献が評価されました。

■受賞記念講演 令和7年11月29日（土）

2025年度五井平和財団フォーラムにおいて授賞式および受賞記念スピーチ

### ■選考委員

|     |       |                                |
|-----|-------|--------------------------------|
| 委員長 | 佐藤 禎一 | 東京国立博物館名誉館長・元ユネスコ特命全権大使（当財団顧問） |
|     | 明石 康  | 国立京都国際会館理事長・元国連事務次長（当財団理事）     |
|     | 加藤 秀樹 | 一般社団法人構想日本代表、京都大学経済学研究科特任教授    |
|     | 黒川 清  | 東京大学名誉教授、政策研究大学院大学名誉教授         |
|     | 近衛 忠輝 | 日本赤十字社名誉社長                     |
|     | 西園寺昌美 | 五井平和財団会長                       |
|     | 田坂 広志 | 学校法人21世紀アカデミア学長、多摩大学大学院名誉教授    |

＊敬称略・50音順

## 3. 研究会等の調査研究

### （1）平和科学調査研究会

- ①全体会 令和7年度は開催せず
- ②運営委員会 令和7年度は開催せず
- ③分科会活動
  - 幸せの価値観：情報収集、調査資料ジャンル別整理等
  - 震災復興：震災から考える日本の未来と自然について調査
  - 科学的事例調査：がん治療事例、宇宙太陽光発電等調査
  - 平和へのシナリオ：平和へのプロセス研究・ディスカッション
  - 自由研究：最先端物理学理解に向けた基礎理論の直観的把握

## 4. 新しい文明に向けての英知の結集

### ①国連・ユネスコとの交流事業

ESD-Net 2030 パートナーとしてユネスコ主催のウェビナー・会合にオンライン参加

1. 「紛争を乗り越えるための文化間対話」ブリーフシリーズ  
日 程：令和7年4月1日（火）
2. 「ユネスコとどのように連携するか」ウェビナーシリーズ  
日 程：令和7年5月19日（月）
3. 世界環境デー・ウェビナー「グリーンスクール推進のための革新的な実践」  
日 程：令和7年6月5日（木）
4. ESD-Net 2030 学びのウェビナー「持続可能性のための社会と心の学び」  
日 程：令和7年12月10日（水）

5. 第 18 回「ユネスコと公式関係を有する NGO」国際フォーラム

日 程：令和 8 年 2 月 12 日（木）

②国際機関・海外民間団体との交流事業

- 千代田区教育委員会、駐日モロッコ王国大使館、ラバト市教育委員会との連携事業として、国際交流プログラムを実施  
＜詳細は 5. 駐日外交官等国際交流プロジェクトで報告＞
- **YUMI's Universe**（アメリカ）の平和教育プログラムに協力  
アニメーション動画を通じた子どもへの平和教育プログラムに協力。
- **Global Inner Peace Summit 2025** に登壇  
5 月 5 日、世界各地の意識変容・内的平和をテーマとするオンラインサミットに登壇し、五井平和財団の理念と活動を紹介。（参加者：約 400 名）
- **One Young World Summit 2025**（ドイツ・ミュンヘン）に参加  
11 月 3 日から 6 日にかけて、190 カ国以上から 2,200 名以上の若者リーダーが集う世界最大規模の若者リーダーシップサミットに、五井平和財団のインターンが参加。世界各国の若者と国際交流を行った。
- **Global Women's Empowerment Network**  
同団体より、西園寺昌美会長、裕夫理事長の世界平和推進活動に対し、GWEN Luminary Award（功労賞）を受賞  
ロサンゼルスで 9 月 18 日に開催された授賞式（参加者：約 150 名）への参加を通じ、国際的な連帯とネットワークの強化を図った。
- **Global Women in Management**（スリランカ）主催の授賞式に参加  
川村真妃副理事長が、平和・人道支援リーダーシップ部門の「Top 50 Professional & Career Women Global Award」を受賞。10 月 7～9 日にかけて、世界各国の女性リーダーをはじめとする 400 名が参加する国際会議にて表彰を受け、平和活動のネットワーク構築を行った。
- **Peace One Day** のドキュメンタリー映画制作への協力
- **ServiceSpace**（2019 年五井平和賞受賞）との共催でイベント開催
  - 「Ripple of Peace」1 月 25 日／イギリス・ロンドン（参加者：約 40 名）  
利他とギフト・エコノミーを理念とする国際的コミュニティ ServiceSpace との共催で平和の波及をテーマに対話の場を設けた。
  - 「Awakin Circle」1 月 26 日／イギリス・ロンドン（参加者：約 20 名）  
ServiceSpace が世界各地で開催する対話の集い「Awakin Circle」を共催。内なる気づきと平和について深める場を提供。
- **ローハンプトン大学**（イギリス）より名誉博士号を授与  
川村真妃副理事長の教育・社会正義・平等の分野における貢献に対し、名誉博士号を授与。授賞式にてスピーチを行い、翌日には学生との平和に関する対話セッションを実施（参加者：約 40 名）。また、大学図書館にて五井平和財団の活動を紹介するポスター展示を行った。
- **Cognisee, PBC**（アメリカ）と協力覚書（MoU）締結  
人類の知恵・文化・言語の多様性の保存と、価値観に基づく AI 開発を理念とするアメリカの公益法人 Cognisee, PBC と覚書を締結。先住民の知恵の保存、平和教育・若者向けプログラム、倫理的 AI 開発など幅広い分野での協力関係の構築に向けた探索的枠組みに合意。

③ May Peace Prevail On Earth International（姉妹団体）日本オフィス活動協力

- 第 28 回ピースパル国際アートコンテスト  
テーマ：自由  
参加者：約 4000 名

- 第33回広島ピースセレモニー  
8月6日（水） 原爆ドーム前+オンライン配信  
MPPOE ニューヨーク・オフィス、SINE Network（米国）と共催  
現地40名、オンライン250名が参加  
吉川里香 MPPOE International 副理事長スピーチ
- 第26回長崎ピースセレモニー  
8月9日（金）長崎平和公園（原爆落下中心地）+オンライン配信  
現地20名、オンライン60名が参加  
吉川里香 MPPOE インターナショナル副理事長挨拶
- Peace Pole Craft  
日時：8月20日（水）、8月21日（木）9:00～12:00  
会場：大阪・関西万博会場内 フェスティバル・ステーション  
プログラム：世界平和創造の象徴である“ピースポール”の共同制作  
やピースメッセージの記入を通じて、国籍、人種、宗教、  
文化を超えて人々の心をつなぎ、平和への願いを形に  
する体験型プログラム
- World Peace Flag Ceremony
  - ① 大阪・関西万博会場内 フェスティバル・ステーション  
日時：8月22日（金）19:30～21:00  
主催：NPO 法人アース・アイデンティティ・プロジェクト  
オンライン配信：YouTube（参加費無料）  
プログラム：
    - ・ ワールド・ピース・フラッグ・セレモニー
    - ・ Humming for Peace パフォーマンス  
出演者：かくばりゆきえ、ピアノ演奏／声松優一
    - ・ 日本舞踊 ～「世界を平和に」という願いを踊りに込めて～  
出演者：大木葉（日本舞踊家）
    - ・ Peace Poles Craft（ピース・ポール・クラフト）紹介  
出演者：吉川里香（May Peace Prevail On Earth International  
副理事長）
    - ・ 世界中の若者からの平和のメッセージ映像紹介  
出演者：川村美妃、川村琉美（Youth Peace Ambassadors-  
Expo2025 プロジェクト代表）
  - ② EXPO アリーナ「Matsuri」  
日時：10月1日（金）14:15～15:15  
主催：NPO 法人アース・アイデンティティ・プロジェクト
- Peace Prevails Program 普及支援  
MPPOE インターナショナルが開発した小学生向けの平和教育教材  
とその活用のための教員トレーニング・プログラムの普及支援
- 日本語ウェブサイトおよびメールマガジン等による情報発信  
<http://www.worldpeace-jp.org/>

ー平和普及自主活動

| 年月日       | 活動内容                                                               |
|-----------|--------------------------------------------------------------------|
| 2025.4.3  | Home for Humanity が、メキシコのフエルト・ロマ・ヴェルデのコミュニティに<br>ピースポール建立。参加約 50 人 |
| 2025.4.27 | 福岡・天神中央公園で開催されたグローバル・ヴィレッジ・ユニバーサル・フェ<br>スティバルでフラッグセレモニーを開催         |
| 2025.4.27 | 出雲大社福井分院にピースポール建立                                                  |
| 2025.4.29 | 岡山県サムハラ神社にて第 10 回 WPPC を開催。参加約 30 名                                |



|                     |                                                                                        |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 2025.5.25           | 岡山県高山寺にて第 9 回 WPPC を開催 参加約 20 名                                                        |
| 2025.6.21           | 夏至の日のリレーWPPC に全国から 196 名参加                                                             |
| 2025.6.21           | 札幌市円山動物園にてゲーム形式の WPPC を開催 参加約 200 名                                                    |
| 2025.7.6            | イタリアのミラノ最古の教会、サンタ・マリア・アッラ・フォンテ教会の聖壇にて WPPC を開催 参加約 100 名                               |
| 2025.8.10           | 五島列島のピースポール 5 本のメンテナンス 参加 7 名                                                          |
| 2025.9.17           | カリブ海のアルバ島の地元ロータリークラブが、ダイビングスポットの海中にピースポールを建立                                           |
| 国際平和デー<br>2025.9.19 | ナイジェリアのポートハーコートにて現地ボランティアが国際平和デーの WPPC を開催 地域の平和に貢献があったリーダーを表彰し、卓上ピースポールを贈呈 参加 300 名以上 |
|                     | 国際平和デーに、大阪、イタリア、アラントンオフィスの各ボランティアグループが合同でオンライン WPPC を開催 参加約 100 名                      |
|                     | ポーランドのボランティアが、ワルシャワにて国際平和デー行事を開催。在ポーランド日本大使館より在外公館長表彰が授与される 参加 150 名                   |
|                     | 国際平和デーに、第 0 回石清水八幡宮フラッグセレモニーを開催 現地 80 名参加、オンライン参加 82 名参加                               |
| 2025.9.22           | 平和首長会議加盟のドイツ・マール市が、同市 5 本目となるピースポールをアルベルト・シュバイツァー高校に建立 市長と全校生徒、全教員が参加                  |
| 2025.9.23           | 秋分の日リレーWPPC 参加 60 名                                                                    |
| 2025.9.24           | 米、シカゴピースデーにて 1000 人規模のフラッグセレモニー                                                        |
| 2025.10.3           | 米、ニューメキシコ州サンタフェで開催されたロータリー平和会議を通じて、各参加団体が共同でトーマス・マイオカーネ公園にピースポールを建立                    |
| 2025.10.21          | 日本人シンガー Aluma さんをはじめとする 5 名（内会員 1 名）が、南アフリカ共和国ケープ州のゾラニ青年合唱団と交流し、ピースポールとピースドールを贈呈       |
| 2025.11.9           | 南オーストラリアのヒルクレスト市に地元ロータリークラブが初のピースポールをコミュニティハウスに建立                                      |
| 2025.11.10          | 奈良県十津川村の玉置神社を正式参拝の後、第二回 WPPC を開催 参加 26 名                                               |
| 2025.11.14          | ケニア・ナイロビにて行われた国際平和会議にて、教育団体のリビングピースがフラッグセレモニーを開催 参加約 50 名                              |
| 2025.11.24          | ネパールのカトマンズの最古の寺院の一つ、スワヤンブーナート寺院で現地のボランティアがピースポール建替え                                    |
| 2025.12.23          | 冬至の日リレーWPPC で全国から参加 55 名                                                               |
| 2026.1.10           | バチカンのカステル・ガンドルフォにて、教育団体のリビングピースがフラッグセレモニーを開催 現地参加約 320 名                               |
| 2026.3.17           | 賛助会員会員 2 名が、インド・アーメダバードのインターナショナルスクール SGVP を訪問し、全校生徒と WPPC を開催                         |
| 2026.3.18           | 賛助会員会員 2 名が、インド・ラクノウの City Montessori School を訪問し、全校生徒と WPPC を開催                       |

## 5. 駐日外交官等国際交流プロジェクト

- (1) 群馬県立女子大学「グローバル・シチズンシップ（大使リレー講座）」  
「グローバル社会と若者の未来」をテーマに、国際コミュニケーション学部

| 開講日          | 講師（敬称略）                                 | テーマ                                       |
|--------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------|
| 令和7年<br>6月3日 | 公益財団法人 五井平和財団 理事長<br>西園寺 裕夫             | 持続可能な社会を目指して平和を<br>考える                    |
| 6月24日        | 駐日フィリピン共和国特命全権大使<br>ミレーン・デ・ホヤ・ガルシア・アルバノ | 世界におけるフィリピン：価値観・アイデンティティ・平和外交             |
| 7月15日        | 駐日モルディブ共和国臨時代理大使<br>シャフラズ・ラシード          | 気候変動と国家の消失：モルディブが問いかける人類の選択               |
| 7月29日        | 駐日シンガポール共和国特命全権大使<br>オン・エンチュアン          | インド太平洋の経済と安全保障情勢と日星協力の展望                  |
| 10月28日       | 駐日ジャマイカ特命全権大使<br>ショーナ・ケイ・M・リチャーズ        | 地球市民の役割：平和を築く女性たち                         |
| 11月4日        | 駐日マラウイ共和国副大使<br>ジョセフ・チクウェンバ             | 地域で行動し、地球規模のインパクトを与えよう：誰も取り残されない世界の構築に向けて |
| 12月23日       | 2025年日本国際博覧会 政府代表<br>羽田 浩二              | 大阪・関西万博を終えて                               |

- (2) 駐日外交官による交流プロジェクト

| 実施日           | 実施校（団体）・参加人数                   | 教育課程における位置付け         | 講師（敬称略）                                                                                                                     |
|---------------|--------------------------------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和7年<br>5月10日 | 中央大学附属高等学校<br>（東京都小金井市）約100名   | 選択科目                 | 駐日コソボ共和国特命全権大使<br>サブリ・キチマリ                                                                                                  |
| 9月10日         | 福島県喜多方市立塩川中学校<br>6名            | 学校行事・修学旅行<br>（大使館訪問） | 駐日サウジアラビア王国大使館<br>儀典課・広報室 アルブカリ・マリカ<br>儀典課 シャケル・アルヒッジ<br>広報室 清水 春奈                                                          |
| 10月30日        | 千代田区教育委員会事務局<br>「国際教育推進協議会」20名 | 教員研修<br>（大使館訪問）      | モルディブ共和国大使館<br>二等書記官 ハッヴァ・サムハ<br>二等書記官 アミナット・ラズィア                                                                           |
| 11月7日         | 東洋英和女学院小学部（港区）<br>6名           | クラブ活動<br>（大使館訪問）     | フィリピン共和国大使館<br>一等書記官兼領事（文化部長）<br>ファティマ・G・キンティン<br>一等書記官兼領事（広報部長）<br>ダレル・アルターテス<br>三等書記官兼副領事（政治部・広報部）<br>アントニオ・エマニュエル・R・ミランダ |

(3) 日本とモロッコとの学校間交流

千代田区教育委員会、駐日モロッコ王国大使館、ラバト市教育委員会、モハメッド6世環境保護財団との連携事業として、国際交流プログラムを実施

期 間：令和7年7月～令和8年2月

参加者：(日本) 千代田区立富士見小学校3～4年生 約150名

(モロッコ) アブデルモーメン小学校1～5年生 約35名

概 要：両国の環境学習について動画やスライドを用いたオンライン交流学習を8ヶ月の間に3回行う。交流の前後には大使館による特別授業を実施

## 6. 国際ユース作文コンテスト

ユネスコの「持続可能な開発のための教育：SDGs 達成に向けて (ESD for 2030)」を推進する事業として開催

事業見直しのため、2025年度のコンテストは実施せず

### ① Goi Peace Youth Community

国際ユース作文コンテスト参加者をはじめ、登録時点で30歳以下の世界中の若者を主な対象に、各国の若者リーダー育成のためのプログラムを提供 (Zoom および YouTube/英語)

#### - Youth Peace Ambassadors - Osaka Expo 2025

若者 (インターン川村美妃主導) が主体となって、世界中の若者から「平和」に関する1分以内のメッセージ動画を集め、大阪・関西万博、SNS やオンラインメディアなどを通じて世界中に発信していくプロジェクト

70 か国以上、1200 人以上からピースメッセージを集め、万博終了後は Peace Voice プログラムとして継続して募集・配信

#### - Peace Cafe

対話でつながる場を提供し、平和のコミュニティを醸成する

3月7日 (土) 21:00-22:00

参加者数：133名

## 7. 地球っ子広場

### (1) 地球っ子広場各地区展開 事業見直しのため休止

- 活動趣旨 子どもたちが放課後や休日に、広く社会と触れ合える居場所を創設し、保護者、地域の人々が集う、良き地域コミュニティを目指し、生命・平和・環境等を大人と子どもが共に学ぶ広場を運営
- 後 援 ユネスコ国内委員会
- 認定事業 ユネスコ本部より「ESDの10年の公式活動」認定を受ける

## 8. 社会起業家育成プログラム

シチズン・アントレプレナーシップ・コンペティション（英語サイト）

内 容：国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に資するアイデアやプロジェクトを募り、あらゆる世代に社会起業を奨励・育成するオンライン・キャンパスおよびオンライン・コンペティション

主 催：五井平和財団、スティッフタング・アントレプレナーシップ財団

期 間：3月～8月31日

選考方法：ウェブサイト上の一般投票で上位10位までのファイナリストを選出し、選考委員が最優秀賞、2位、3位を選考。

選考委員：ギュンター・ファルティン（ベルリン自由大学教授）

西園寺裕夫（五井平和財団理事長）

ベルナード・コム（UNESCO 持続可能な開発のための教育プログラム・スペシャリスト）

パメラ・ピーターズ（Institute for a Sustainable Planet／Executive Director）

カースティン・フォスバーク（Planeta Océano 創設者）

エディオラ・パショラーリ（World Assembly of Youth 事務局長）

ラヴィ・チョードリー（シネクスト・コンサルティング & インベストメント会長）他

### <1位>

VulGenix：慢性創傷ケアのための持続可能なBCハイドロゲル

ハルシャン・グルバラン、アリヤクリシュナ・カナカメダラ、アビナヴ・ゴパラクリシュナン（チーム参加／アメリカ）

農業廃棄物や食品廃棄物から抽出した培養液を栄養豊富なゲル状のバイオ素材に変換して、低価格な傷の保護シートに加工し、循環型経済と医療イノベーションを図るアイデア。

### <2位>

Naturista：地球と健康に優しいコーヒーポッド

アディティヤ・ヘレカル、カラン・ヴェルマ（チーム参加／アメリカ）  
「コーヒーポッド」（1杯分のコーヒー粉が入ったカップ）を、米国食品医薬品局（FDA）の承認を受け、薬用カプセルにも使用されている植物由来のバイオポリマーで提供するというもの。ポッドは熱湯に溶け、食物繊維と共にそのまま飲めるものと、ゴミとして生分解される種類がある。

### <3位>

HushHeart：心臓が語らないことを聴く

アンヴィ・アナンド、エア・デヴ、ドリティ・アイナラ  
（チーム参加／アメリカ）

SDGs 目標12：つくる責任 つかう責任

心臓発作の6割が前兆のないことから、AIを搭載したシール型の心電図測定器で心拍活動を継続的に監視することで虚血性心疾患などを早期に検出し、アラートで知らせる画期的なアイデア。

## 9. ユネスコ活動・ESD・SDGs 推進事業

- (1) ユネスコ未来共創プラットフォーム for 2030～UNESCOConnect～事業  
「ユースによるユネスコ活動活性化支援」

1. ユネスコ日本ユース・セミナー

日 程：令和 8 年 1 月 12 日（祝・月）

参加者：（対面会場）ユース 31 名、オブザーバー 7 名  
（オンライン）ユース 22 名、オブザーバー 16 名

概 要：「科学でつなぐ ひと・社会・未来」をテーマに、ユネスコの活動をより身近に、自分事として感じてもらうことを目的に講演やワークショップ等を行う。

場 所：ビジョンセンター東京京橋、オンライン

2. ユネスコ日本ユース・フォーラム 2025/26

日 程：令和 8 年 2 月 8 日（日）

参加者：（対面会場）89 名  
（オンライン）217 名

概 要：世代や経験を問わず、ユネスコの理念や多様な活動に触れながら、ユネスコ活動の理解を深めるとともに、参加者自身の活動の幅を広げることを目的に、次世代委員による活動報告やポスターセッション、講演、パネルディスカッション、分科会、交流会等を行う。

場 所：日本教育会館、オンライン

3. ユネスコが主催する国際会議や国内ユネスコ関係イベント等へのユースの派遣

国際会議等への出席や国内外のユースとのネットワーキングを目的にユースを派遣。

（国内）

① ジオパーク国際ユースフォーラム 2025 in 室戸

日 程：令和 7 年 8 月 4 日（月）～7 日（木）

場 所：国立室戸青少年自然の家

② 第 15 回日本ジオパーク全国大会十勝岳大会

日 程：令和 7 年 9 月 27 日（土）～28 日（日）

場 所：美瑛町スポーツセンター他

③ 令和 7 年度 CCNJ 国際ネットワーク部会

日 程：令和 7 年 10 月 14 日（火）～15 日（水）

場 所：山形市保健所

④ 第 14 回グローバル RCE 会議

日 程：令和 7 年 10 月 21 日（火）～22 日（水）

場 所：岡山コンベンションセンター

⑤ ユネスコ文学創造都市おかやま国際会議

日 程：令和 8 年 2 月 10 日（火）～11 日（水）

場 所：岡山コンベンションセンター

⑥ 第 8 回 ESD 実践研究集会・日本 RCE ユース会議

日 程：令和 8 年 3 月 20 日（祝・金）～21 日（土）

場 所：神戸大学

（海外）

① 第 8 回東アジアユネスコエコパークネットワーク若手研究者研修

日 程：令和 7 年 6 月 24 日（火）～28 日（木）

場 所：中国・黒竜江省

② MONDIACULT 2025

日 程：令和 7 年 9 月 29 日（月）～10 月 1 日（水）

場 所スペイン・バルセロナ

③ 第14回ユネスコ・ユース・フォーラム

日 程：令和7年10月26日（日）～28日（火）

場 所：ウズベキスタン・サマルカンド

4. 次世代ユネスコ国内委員会の活動支援

以下の会議開催のほか、教育・科学・文化の各ワーキンググループの自主活動等、委員会活動の側面的支援を実施。

① 令和7年度ユネスコ国内委員会

日 程：令和7年6月4日（水）

参加者：16名

場 所：オンライン

② キックオフミーティング

日 程：令和7年6月15日（日）

参加者：15名

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター

③ サマーミーティング

日 程：令和7年8月2日（土）～3日（日）

参加者：13名

場 所：ビジョンセンター有楽町

(2) ユース同士の連携や活動への支援

1. GOALs～学校協働 SDGs チャレンジ～

日 程：令和7年3月～12月（13回実施）

参加者：暁星高等学校、晃華学園中学校高等学校、城西大学附属城西高等学校、千葉県立柏陵高等学校、麗澤中学・高等学校の生徒23名、担当教員・サポーター10名

共 催：環境省環境再生・資源循環局

概 要：ユネスコスクールを中心とした首都圏5校と協働した探究学習プログラム。福島県いわき市の社会起業家の協力のもと「中高生による中高生のための『福島、その先の環境へツアール』」を実施し、中高生20名を福島に案内。

場 所：東京都内、福島県いわき市、福島県双葉郡双葉町 等

2. ユネスコ活動・ESD関係団体との連携

年間を通じて、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センターをはじめとする全国のユネスコ活動・ESD関係団体と連携。

(3) ESDティーチャープログラム

日 程：令和7年6月～10月（7回実施）

参加者：ユネスコスクール等の教員15名

概 要：奈良教育大学ESD・SDGsセンター、近畿ESDコンソーシアム主催の教員向け研修プログラムの東京会場を共催。ESD適切に指導できる教員に求められる資質・能力を明らかにし、その力量形成を目的とする。

(4) ESD岡山アワード

「ESD岡山アワード2025」に運営委員会委員ならびに審査員として参画

(5) ユネスコスクール等の活動支援

・千葉県立市川昂高等学校

「学校運営協議会」に委員として参加

・2025八千代子どもサミット

講師として計2日間参加

## 10. 青少年育成に係る若手指導者養成奨学金事業

特別奨学生 3 名に継続支給

吉岡瑞貴 リスト・フェレンツ音楽大学大学院修士課程（ハンガリー）  
柏木舞波 ジョージ・フォックス大学大学院修士課程（アメリカ合衆国）  
大越光介 オタワ大学大学院博士課程（カナダ）

選考委員（委員長） 成田 純治 株式会社博報堂相談役（当財団理事）  
魚谷 雅彦 株式会社資生堂代表取締役社長兼 CEO  
西園寺裕夫 公益財団法人五井平和財団理事長  
竹田 恆和 日本オリンピック委員会前会長  
都倉 俊一 作曲家、一般社団法人日本音楽著作権協会特別顧問  
服部 真二 セイコーグループ株式会社代表取締役会長  
兼グループ CEO 兼グループ CCO

## 公益法人の運営体制の充実を図るための取り組み

### ■外部理事・監事の選任

平和普及啓発事業ならびに青少年教育事業に係る運営であることから、政治、経済、教育、科学、文化、芸術などの多様な分野において、叡智と経験、実績を有する国内外で活躍された専門家に就任を依頼し、助言を受けている

### ■ガバナンス強化への対応

新公益法人会計基準に関するセミナー受講や、移行に向けての会計ソフト対策などを行い、ガバナンス強化に努めている

## 附属明細書

令和 7 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 8 年 4 月

公益財団法人 五井平和財団